

対象年度		令和 3年度		総合計画実施計画策定及び行政評価シート									
事務事業名		施設整備事業（通学路街路灯整備事業）						予算事業名		施設整備事業費			
予 算 科 目	会計	01	款	項	目	事業	要求区分	根拠法令					
			02	07	02	2001	経常経費						
総合計画体系	2安全で住みやすさを実感できるまちづくり(都市・環境)						事業の区分	主要事業					
	2-4安全に暮らせる安心なまちづくり（防災・防犯・安全）												
	③交通安全対策の推進						担当課係等	防災安全課					
	3街路灯の設置							交通防犯係					
事業期間		継続（昭和63年度～令和 4年度）											
【めざす姿（意図・どのような状態になるのか）】							【事業開始のきっかけや他市の状況など】						
民家や照明等のない暗い通学路に対し、街路灯を設置することで、児童生徒の通学時の安全対策を図る。							通学路の安全確保のため、街路灯設置の要望により実施。						
【手段（事業内容・どのようなことを行うのか）】							【対象（だれに対して・何に対して行うのか）】						
申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い許可案件について街路灯を設置する。							児童生徒をはじめ、付近住民および通行者						
							【事業をとりまく環境の変化】						
							交通安全及び防犯対策の観点からも街路灯の設置要望数は増えているが、限られた予算の中での対応は難しい。						
【令和 3年度 事業内容】				【令和 4年度 事業内容】				【令和 5年度 事業内容】					
申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い許可案件について街路灯を設置する。				申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い許可案件について街路灯を設置する。				申請を受け、内容の審査及び現地確認等を行い許可案件について街路灯を設置する。					

■事業費

		R01年度	R02年度			
財源内訳	国庫支出金	0	0			
	県支出金	0	0			
	地方債	0	0			
	その他の	0	0			
	一般財源	288	475			
歳入計（千円）		288	475			
歳出内訳	節（番号＋名称）	金額（千円）	金額（千円）			
	14 工事請負費	288	475			
歳出計（千円）（A）		288	475			
伸び率（％）			64.93			
備考	総合計画 84 ページ 予算書 68 ページ					

令和元年度行政評価シート

■指標

種類	指 標 名	単 位		R01年度	R02年度	R03年度
活動 指標	L E D街路灯の新設	基	目標	15.00	15.00	15.00
			実績	7.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00
成果 指標	設置基数	基	目標	1,330.00	1,345.00	1,360.00
			実績	1,294.00	0.00	0.00
			目標	0.00	0.00	0.00
			実績	0.00	0.00	0.00

■事業評価

必要性	事業の必要性	A 必要性は高い	経費節減のため必要性は高い。
妥当性	実施主体の妥当性	A 妥当である	市で対応すべきである。
	手段の妥当性	A 妥当である	一般的である。
効率性	コストの効率性・人員効率	B どちらとも言えない	
公平性	受益者の偏り	B どちらとも言えない	市内全域が対象であるが、予算の関係で一部にしか対応できない。
有効性	成果向上の余地	B どちらとも言えない	L E D灯を設置することで経費節減につながっている。
進捗度	事業の進捗	B どちらとも言えない	予算が限られているので、計画的な進捗は望めない。
総合評価 上記評価を踏まえて事業全体について評価し、問題点・課題等を指摘してください			
計画的にL E D灯による設置を進めていきたいが、限られた予算の中での対応は難しい。			
対応策提言等 この事業を今後どのように改善・改革をしていきますか			
今後計画的に設置を進めるうえで、予算の拡充を図りたい。			

■方向性

1 次評価（1 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☒ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
方向性の具体的内容 自治会からの要望に基づき設置する事業であるが、必要性・重要性・維持管理も含めて慎重に判断する。	
2 次評価（2 次評価者として判断した今後の事務事業の方向性（改革・改善策）） ☐ 拡充（人・モノ・カネ等の拡充） ☐ 改善改革しながら継続 ☐ 現状のまま継続（改善・改革なし） ☐ 統合・新規事業への展開 ☐ 縮小 ☐ 休止 ☐ 廃止・終了 ☐ 予定どおりの要求 ☐ 一部改善の上要求 ☐ 今回は見送り ☐ その他の処置	
企画調整会議の意見・考え方（1 次評価者と同じ場合も記入） 上記評価のとおり。	